

統合物質創製化学推進事業 第2回若手研究会



開催日：2011年5月27日（金）～28日（土）

会場：休暇村支笏湖

主催：統合物質創製化学推進事業（文部科学省特別経費）

講演プログラム

平成23年5月27日（金曜日）

14:00-14:30 参加登録

14:30-14:35 開会の挨拶（オブザーバー：上田渉教授）

研究発表

座長 小林広和（北海道大学）

14:35-14:55 津留崎陽大（京都大学）

速度論的に安定化された1-ホスファ-2-ボラアセナフテンの合成と物性

14:55-15:15 志村勝也（北海道大学）

光触媒的メタン水蒸気改質反応のためのRh添加チタン酸カリウム光触媒の調製

15:15-15:35 中寛史（名古屋大学）

コバルト触媒を用いた末端アルキンの水和反応

15:35-15:55 蒲池高志（九州大学）

フルオロ酢酸デハロゲナーゼの基質特異性に関する理論的研究

15:55-16:10 休憩

座長 岡野真人（京都大学）

16:10-16:30 荘司長三（名古屋大学）

基質認識トリックを利用する新規バイオ触媒系の開発

16:30-16:50 太田英俊（北海道大学）

炭素担持Pt触媒によるリグニンモデルの水素化脱酸素反応

16:50-17:10 徳田陽明（京都大学）

自己組織化による有機-無機ハイブリッド型マイクロロールの作製

17:10-17:30 宮田耕充（名古屋大学）

ナノ試験管を用いた物質変換

17:30-17:45 休憩

招待講演

座長 内田太郎 (北海道大学)

17:45 - 18:25 池田勝佳 (北海道大学大学院理学研究院)

電極触媒および光機能性分子修飾電極におけるプラズモン共鳴の利用

19:15 - 20:30 夕食

21:00 - 23:00 研究交流会

平成23年5月28日（土曜日）

招待講演

座長 清水研一（北海道大学）

8：30－9：10 大宮寛久（北海道大学大学院理学研究院）

有機ホウ素化合物を用いる高選択的炭素-炭素結合形成反応の開発

研究発表

座長 吉川浩史（名古屋大学）

9：10－9：30 古野裕史（九州大学）

キラルな金属錯体触媒と反応媒体の同時回収・再利用が可能な
触媒-イオン液体不斉反応システムの開発

9：30－9：50 マーディー・リチャード（京都大学）

サファイア(0001)基板上のペンタセン蒸着薄膜の成長と電気特性

9：50－10：10 天野史章（北海道大学）

薄片状構造をもつ酸化タングステン電極の光電気化学特性

10：10－10：25 休憩

座長 井川和宣（九州大学）

10：25－10：45 田中弦（京都大学）

細胞内移行を促進する膜透過性アルギニンペプチド受容体の同定

10：45－11：05 鬼束聡明（九州大学）

刺激応答型 π 共役アリールエチニルピリジン誘導体の合成および機能

11：05－11：25 田中慎二（名古屋大学）

タンパク質修飾に向けたシステイン含有ペプチドの脱水的Sアリル化

11：25－11：45 脇岡正幸（京都大学）

ホスフィン配位スチリルパラジウム錯体からのP-C還元的脱離

11：45－11：50 総括（オブザーバー：上田渉教授）

11：50－12：00 写真撮影